

第3回肝属川水防災意識社会再構築協議会を開催しました！

平成29年5月29日
大隅河川国道

1.概要

- 肝属川において、水防災意識社会の再構築を図るため、国・県・沿川1市2町（鹿屋市、肝付町、東串良町）からなる「肝属川水防災意識社会再構築協議会」を平成28年6月2日に設置しました。（第1回協議会）
- 平成28年8月16日、第2回協議会にて肝属川における現状の取組状況及び課題等について再確認を行い、関係機関が連携して今後概ね5年間で取り組む事項を「肝属川の減災に係る取組方針」として策定しました。
- 平成29年5月29日、第3回の協議会を開催し、取組方針に記載の取組項目について、現在の実施状況を共有するとともに、平成28年度末に公表した浸水想定区域図（想定最大規模）及び今後の取組として「洪水情報のプッシュ型配信」について共有しました。

2.日時／実施状況

日 時：平成29年5月29日（月）

場 所：大隅河川国道事務所 3階大会議室

出席者：東串良町（町長）、鹿屋市（市民生活部長）、肝付町（総務課長）
鹿兒島地方气象台（台長）、鹿兒島県（河川課長）
大隅河川国道事務所（所長） **関係機関 約20名が参加**

3.議事内容

- ・「肝属川の減災に係る取組方針」の実施状況について情報共有がなされた。
- ・H29.3公表の浸水想定区域図（L2）について、事務局から説明がなされた。
- ・今後実施に向けて調整を開始する『洪水情報のプッシュ型配信』について、事務局から説明がなされた。



会場全景(大隅河川国道事務所)

4.主な意見・コメント等

- ・ 県管理河川でも水防災再構築の取組を進めていこうとしているが、国と県で連携して実施してほしい。
- ・ 洪水情報のプッシュ型配信については、実施に向けて、国と自治体でメリット・デメリットを整理していく。
- ・ 浸水想定公表により避難計画を見直すなど、各機関で実施する取組については関連する項目があるため、わかりやすいフロー図があるとよい。



東串良町長